



千葉労働電報

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.8.12 No.4044

8.6ヒロシマ8.9ナガサキ戦争を賛成!

派遣団へのカンパ

ありがとうございます

八・六ヒロシマ

闘争に参加して

執行委員・山田雄一

八月六日、広島市において「反戦・反核ヒロシマ全国集会」が開催され、動労千葉からも一名の代表団を送り、全国の仲間とともに闘いぬいてきた。

炎天下のなかで開催された広島市平和公園での集会は、現在の原水禁運動が連合の発足以来後退につぐ後退を呈していることに参加者から怒りの発言が相次ぐなかで、「日米による朝鮮侵略戦争策動、日本の核武装化の攻撃に対し、全力で闘う」とが表明された。

また、夕刻広島市労働福祉会館で開催された「八・六広島反戦・反核集会」では、全国で反戦闘争の先頭で闘う団体・人士からの発言を受け、最後に被爆者青年同盟より「原爆は余りにも深々と被爆者の肉体を蝕み精神をも痛め続けている。核と人類は絶対に相容れないのだ。」「今こそヒロシマの教訓を生かす時。」「プロレタリア国際主義連帯にかけ、『日米の朝鮮侵

略戦争阻止』を掲げよう!『日本の核武装化反対!』を掲げて闘おう!四九年目の夏、『アジア侵略、ヒロシマ、ナガサキ、オキナワを繰り返すな!』のスローガンの下、被爆者を先頭に、労働者を基軸に、三〇億アジア人民の闘いに自らを連ねよう!とのヒロシマアピールを提案し、満場の拍手で採択された。また、翌七日には、「軍都広島」

の戦跡めぐりが「小西のぶ子記念館」の主催で行われた。「軍都広島」は、明治政府の富国強兵政策のもと、日清戦争が本格化した一八九四年九月に大本営が東京から広島へ移され、帝国議会の仮議事堂が設置されるなどし、軍事施設が拡張されてきた。特に、広島は第二次大戦まで朝鮮・アジア侵略に備えた派兵・兵站基地として位置付けられた。軍都めぐりでは、陸軍糧秣廠、陸軍被服廠、陸軍幼年学校跡や先遣隊として「精鋭」部隊であった第五師団の司令部跡、その第五師団の基幹部隊としてあった歩兵第一連隊跡などを見学した。

また、平和のシンボルとして宣伝されている平和公園でも「

いのりの塔」とされている慰霊碑には、被爆者とともに戦犯処刑者、軍人軍属などが祀られていたり、一旦市が平和公園に設置すると約束した「韓国人犠牲者慰霊碑」が平和公園内には設置されず、公園外においやられたという差別が行われているなどのことも指摘された。

今、朝鮮侵略戦争へむけた動きが切迫化している。来年は、敗戦、八・六ヒロシマ、八・九ナガサキから五〇周年となる。いま本当に労働者の闘いが問われていることを痛感した闘いであつた。

八・九長崎反戦

・反核闘争に参加して

青年部長・佐藤正和

被爆四九周年。自分は今回初めて八・九ナガサキの闘いに参加させていただきました。

八月八日、九日と両日にわたって長崎反戦・反核集会がおこなわれ、九日の集会では自分も決意表明し、祈念式典弾効、爆心地、長崎市内デモを貫徹してきました。

坂の多い美しい長崎の街を一時のうちに核爆弾がのみつくしてしまったことを考えると絶対に「核」も「戦争」もあつてはならないと思いました。

集会でも多くの方が述べられました。具体的実践として、朝鮮侵略戦争阻止、日本の核武装化を絶対に許さない闘いをなすとしても貫徹しなければならぬということです。

八・九ナガサキの闘いをステップに反戦・反核闘争への青年部の総決起をかちとるその先頭で頑張る決意です。

最後に、全組合員の青年部派遣団への闘争カンパのご協力に御礼申し上げます。ありがとうございました。

